



八瀬の流れ

月立小学校 校長 鹿野田忠之
令和5年2月24日 発行
第 11 号

当たり前のことを当たり前

少し前の話題になりますが、昨年11月から12月にかけて、FIFAワールドカップが開催されました。皆さんご存じのとおり、サムライブルー（サッカー日本代表チーム）の予選ラウンドでの大躍進や「三苦（みとま）の1ミリ」「ブラボー！」など、話題に事欠かない今年のワールドカップでした。

しかし、その影でひっそりと話題になっていたことがあります。それは、サムライブルーの試合後のロッカールームが、試合前以上に美しく掃除され、「ありがとう」のメッセージとともに、11羽の折り鶴が飾ってあったということです。また、試合後に、日本人サポーターが観客席をきれいに引き上げる姿がとても素晴らしいこととして、メディアに取り上げられていたということです。

サムライブルーの強さだけに話題が傾きがちでしたが、違った視点で今回のワールドカップについて子供たちに考えてほしいと思い、先日の朝会で、この話を子供たちにしました。子供たちは一生懸命聞いてくれました。

実は、サムライブルーや日本人サポーターのこのような精神は、かつて日本サッカー協会の会長を務めた「長沼 健さん」が説いていたもののようです。長沼さん曰く「サッカーが上手になるために必要なことは、挨拶と整理整頓だ」と言い続けていたようです。ある取材の中で「挨拶や整理整頓ができなくても、サッカーは上手になるのでは？」と聞かれた長沼さんは、次のように答えたそうです。

いません！絶対にいません！！何千人という選手を育ててきましたが、サッカーが上手になる人は、必ず自分から「挨拶」ができ、「整理整頓」がきちんとできるのです。なぜだか、理由は分かりませんが…。

一流のサッカー選手を多く育ててきた長沼さんがこのように語っているからには、何かしら根拠があるのではないかと私なりに考えてみました。「挨拶」も「整理整頓」も当たり前のことで、その「当たり前のことが当たり前ができる」という能力が、サッカー選手としての成長や技術の上達につながっていくということなのではないかと私なりに分析しました。

実は、この「**当たり前のことが当たり前ができる**」ということは、学校生活の中でも大切にしていることです。しかし、頭では分かっているけど、それができないことも多くあります。また、一度の指導では身に付かないことも多々あります。

学校では、一つ一つの指導を根気強く続けながら「**当たり前のことが当たり前ができる児童**」を育てていきたいと思っています。そして、サムライブルーの選手とまではいなくても、それぞれの場所で活躍できる大人に成長してくれることを願いつつ…



月立っ子ギャラリー



今月の月立っ子の様子を御覧ください。
また、ホームページでは、学校の様子をほぼ毎日更新しています。
そちらもどうぞ御覧ください。

<http://www.kesenuma.ed.jp/tsukidate-syou/>



1・2年生 楽しいソリ遊び



みんなでジャンプ！ 全校で長縄跳びにチャレンジ



たてわり班そうじ みんなで協力しています



たてわり班そうじ みんなで協力しています



5・6年生 生活・総合発表会で鹿踊演舞



5・6年生 生活・総合発表会で鹿踊演舞

本年度も残すところ、あと1ヶ月となりました。子供たちへの応援、よろしくお願いいたします。